

早稲田の杜金管合奏団

第1回演奏会

WASE-KING



2001年3月11日(日) 17:00
ルーテル市ヶ谷センター

プログラム

第1部

1. ペリのファンファーレ (P. デュカス) [全員]
魔法使いの弟子等で有名な近代フランスの作曲家による曲で、開幕にはぴったりの曲です。
2. ソナタ・オクタビトニ (G. ガブリエリ) [全員]
元々はリコーダーのための曲でしたが、金管で吹くことを最初に考えた人はとてもエライ！と思います。
3. エクアール (ベートーヴェン) [内田・赤尾・小倉・中野]
「運命」の超ハイトーン等トロンボーンには大変厳しいベートーヴェンではありますが、この曲は大変美しい。
4. 3つの小品 (L. マウラー) [大内・近藤・塚田・赤尾・駒形]
金管アンサンブルは一般的に勇ましい(うるさい?)曲が多いですが、この曲は珍しく癒し系の曲です。
5. シャンソナリー (G. バルボトウー) [近藤・塚田・駒形・内田・大内]
バリ管の名ホルン奏者作曲のこの曲は、フランス民謡が各所にちりばめられたとても楽しい曲です。
6. カンツォン・プリミトニ (G. ガブリエリ) [近藤・大内・久保・塚田・小倉・中野・川俣・杉山・松田・坪井]
かの3大オケ金管アンサンブルの名盤に負けない華麗な音の響きを御堪能いただける予定(?)です。
7. フランスルネッサンス舞曲 (C. ジェルヴェーズ) [杉山・大内・小倉・赤尾・石田・塚田・牛野・中野・大原・内田・坪井・北村]
今回の演奏会の最難関曲であり、そして最も多く練習した曲です。我々の熱い思いを聴いてください。

第2部

8. エドモンズ・ベリのためのファンファーレ (B. プリテン) [近藤・坪井・北村]
3本のラッパが全く違うメロディーをそれぞれ勝手に吹き始めますが、最後に驚くべき結末が待っています！
9. 亜麻色の髪の乙女 (C. ドビュッシー) [北村・大内・坪井・杉山・塚田・川俣・小倉・内田・中野・駒形]
あまりにも有名なドビュッシーの曲です。最初のソロはフリューゲルホルンというラッパの親戚が受け持ちます。
10. 浜辺の歌 (成田 為三) [森岡・坪井・北村・杉山・塚田・内田・大原・石田・赤尾・中野・駒形]
海外でもよく演奏される日本の代表的な名曲ですが、これをきいてホッとするのは私だけでしょうか。
11. トロンボナンザ (F. D. コフィーールド) [小倉・赤尾・内田・北村・坪井・松田・川俣・塚田・駒形]
いままで猫をかぶって(?)おとなしかったトロンボーンが大あばれます。御期待を！
12. トランペット吹きの日 (L. アンダーソン) [近藤・坪井・久保・北村・森岡・大内・川俣・小倉・赤尾・大原・石田・内田・中野・駒形]
3本のラッパをフューチャーしたとても陽気なポップスですが、途中で加速しだすと止まらなくなります。
13. イージーウィナーズ (S. ジョプリン) [久保・坪井・牛野・川俣・赤尾・小倉]
旧き良き時代のアメリカの雰囲気を感じさせるこの曲を、今日は小編成のアンサンブルで演奏します。
14. 子供の領分 (C. ドビュッシー) [北村・近藤・大内・杉山・塚田・川俣・小倉・赤尾・大原・中野・牛野]
元々はピアノの曲ですが、当団の大原アレンジャーによって見事に金管アンサンブルに生まれ変わりました。
15. 聖ヨハネ騎士修道会の荘重な入城 (R. シュトラウス) [全員]
かの交響詩の大家が書き上げた壮大な金管合奏スペクタクルです。フィナーレにふさわしい音の洪水をお楽しみ下さい。

(※[]内はその曲の出演者で、左側から順に並んでいます。なお、太字はソリストです。)

第1回演奏会にあたり

早稲田の杜金管合奏団（ワセキン）誕生記

坪井 賢一

早稲田の杜金管合奏団。おお。なんと良い名前だ。衆議一決した金管アンサンブルの名称。当初の案は、早稲田の杜中年金管合奏団と、「中年」が入っていたが、つごうによりやめました。デビューは2000年8月の「早稲田大学交響楽団OB会総会」時の室内楽演奏会。結成はその2か月前、突然。どうしてかって？ よく聞いて下さった。

今を去ること3年半前。1997年のことである。おりから金融システム危機が進み、一部大手金融機関が破綻するという噂がマーケットを駆けめぐっていた。そのころ、トロンボーンの大赤尾達也は山一証券北九州支店副支店長として小倉に赴任していた。

10月。私(坪井)はそのとき経済雑誌の編集者。小倉出張のおり、赤尾と20年ぶりに再会し、現下の金融情勢などについて議論していた。「年末にまた来るので会いましょう」「おお。待ってるぞお。ガハハハハハ」。証券会社の営業幹部らしい迫力の笑い声に送られて、小倉をあとにした。

それから1か月。米系格付け会社は山一証券や北海道拓殖銀行などの格付けを引き下げ、株式市場では両社が売り浴びせられていた。またたくまに資金調達の道が閉ざされ、拓銀が11月14日に破綻、1週間後に山一証券が自主廃業した。

年末。出張した私は赤尾に再び会った。「元気ですか」「まあな。いま、後始末に追われているんだ」「どうするんですか」「東京に帰る。なんとかなるさ」「そうだ。6月のババカン(高田馬場管絃楽団)の演奏会にぼくも出ますから、聞きにきてくださいよ。ワセオケ時代の仲間もいますから」「うん。もう20年、楽器に触っていないけどねえ。たまには聞きにいくかあ」。目はつり上がり、蒼白で緊張感漂う赤尾の表情に気押されながら、帰京した。

半年後の1998年6月。ババカンの演奏会。すっかり健康を取り戻し、目がやに下がって上気した赤尾がやってきた。野球帽をかぶっている。「元気そうですね」「うん。再就職先も決まってね。もう東京で働いているぜ」「そうですか」「しかし、だ。いいなあ。きょう聞いて、またトロンボーンを吹きたくなったよ」「またやりましょうよ」。

赤尾はその後、楽器を押入れから引きずり出し、なんと2つのアマチュア・オーケストラに入って音楽活動を再開した。エキストラにも積極的に参加し、あつというまに20年前のライフスタイルに戻ってしまった。

それから1年後の2000年初頭。楽器から遠ざかっていた赤尾の周囲のOBが、再び楽器をケースから出し、赤尾の狂気にかられた演奏活動に巻き込まれはじめた。卒業後も演奏を続けていた者、まったくやめていた者を問わず、少しずつ集まりはじめた。2000年夏。ちょうどOB会総会がある。「演奏しましょう」「やろうやろう」。すぐにエントリーすることになった。

本番直前の練習後。秋葉原の飲み屋での会話。「来年、自主演奏会をやりましょうよ」「そうだそうだ」。なんの根拠もなく盛り上がり、会場のあてもなく計画だけが進行した。3日後の電子メールで(メーリングリストをつくっていた)、滝口弘光(トロンボーン)が「会場予約しましたよお。ルーテル市谷センターでえす」「おお」「なんと」「ほんまかいな」と、勤務中にメールが飛び交い、第1回演奏会を3月11日(日)に開くことに決まってしまった。以来、ワセオケOB以外の音楽仲間も加わり、半年間の練習が進んだのである。

長くなりましたが、ようするにワセキンを生んだのは、1997年の金融危機と、その渦中から脱出した赤尾の帰京なのである。



(さて、実はメンバーそれぞれに、それぞれ面白いエピソードがあります。第2回演奏会以降、順次ご紹介したいと思います。完了するのは17年後になるでしょう。)



MEMBERS

[Trumpet]

松田 泰昌 (42理) / 森岡 篤 (49理) / 杉山 雅彦 (51商) / 久保 正彰 (52商) /
坪井 賢一 (53政) / 北村 和弘 (54理) / 大内 仁 (55理) / 近藤 悦子 (03文)

[Horn]

川俣 裕章 (49政) / 塚田 義昌 (51理)

[Trombone]

石田 了 (51法) / 内田 憲一 (51政) / 大原 実 (52理) / 赤尾 達也 (52商) /
小路 法男 (54理) / 高森 仁志 (54商) / 滝口 弘光 (54法) /
小倉 啓美 (団友) / 中野 裕司 (団友)

[Tuba]

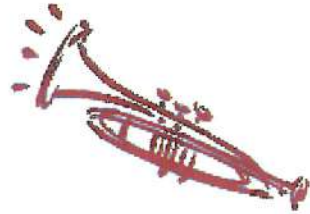
牛野 広一郎 (02教) / 駒形 正人 (団友)

[Percussion]

田中 厚 (54理)

[Conductor]

森岡 篤 (49理)



以上、今日(平成13年3月11日)での平均年齢: 44.77才
この1ヶ月間の平均練習時間: 週2回5時間ずつ
この1ヶ月間の平均酒量: 週7回720ml

応援します。あなたの専門店「ダク」



初心者からプロまでの
あらゆるご要望に
お応えします。

管楽器のことなら何でも
お気軽にご相談ください。



<http://www.perinet.co.jp/users/dac/>

管楽器はダクで。
新大久保

TEL (03) 3232-8631
FAX (03) 3232-8080
(〒169-0072) 東京都新宿区大久保1-18-15

営業時間 10:30~19:00
(*日祝日は18:00まで)



【ダク】の運営する
新しいタイプのミュージックスクール
クラシックコースとポピュラー&ジャズコース
全13パート、随時生徒募集中!
MUSIC SCHOOL
Da Capo
●人々の笑顔が幸せは必ず続きます
TEL (03) 3361-4110
〒169-0073 東京都新宿区西大久保2-9-4
※「ダク」でもお問い合せを受け付けております。